

議案質疑

開会日に提出された議案に対する質疑は、12月14日に行われ、3人の議員が7項目に及ぶ質疑をしました。その主なものは次のとおりです。

議案第81号

問 指定管理の契約内容

【三浦議員】

「明野デイサービスセンターやすらぎ」の指定管理料に固定納付金と変動納付金があるが、その内容は。また、職員と収容人員はどうなるのか。

【保健福祉部長】

指定管理料は過去3年間の実績をもとに業者と協議決定した。黒字施設のため、過去3年間の実績から算出した固定納付金（3年で600万円）と、変動納付金（単年度収支で500万円を超えた額の40%）とした。なお、変動納付金は事業者の営業努力に

よることから事業者に10%多く配分した。

施設の職員は継続雇用を指定管理者に申し入れている。現在の収容人数15人から20人程度までの増員は可能と思うが、周辺のデイサービス事業所を圧迫する懸念もあり、配慮してまいりたい。



議案第89号

問 行政手続にマイナンバーは不要では

【鈴木議員】

市は、マイナンバー制度が

始まることだけを市民にPRし、国の担当者が言った「別に書かなくてもサービスは同じである」との内容を市民に周知していない。この点もPRするべきではないか。

【総務部長】

マイナンバーを記入しなくてもサービスが受けられないことはないと思うが、原則記入することが義務付けられているため広報する予定はない。今後は、どのような事務で、なぜ必要となるのか等をお知らせしていきたい。

【鈴木議員】

現在設置されている住民票等の自動交付機はどうするのか。また、補正の備品購入費552万7千円の目的は何か。

【市民環境部長】

自動交付機は設置契約が切れた後に撤去する予定。今回の補正は、通知カード・個人番号カードに記載されている住所・氏名等について、転入・婚姻等による変更をこれらカードに記載する「裏書システム」の導入経費である。

議案第89号

問 式典に520万円 市民は納得するか

【稲川新二議員】

一本松・茂田線の開通式典経費が計上されている。どのような内容なのか。

【土木部長】

今回の補正は、県施工の小貝川新橋（仮称）と市施工のC・D区間が同時完成となるため、県から開通式典の共同開催の協議を受け、今年7月に県が実施した式典を参考に経費の半分、260万円を計上したものである。

【稲川新二議員】

市民目線から見れば、開通式に520万円は高すぎる。全線開通した際の式典はどのようにするのか。

【土木部長】

経費の削減については県と協議している。今後、全線開通した際は、安全祈願祭的な軽微なものとしたい。